



令和7年12月22日発行 NO9
飛騨県事務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育推進専門職：水口 悟
TEL: 0577-33-1111 (内線 235)
E-mail: mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp

子育て支援は、まちづくり



< 通信【飛騨っ子】 >

- 飛騨市子育て応援課（乳幼児家庭教育学級）×岐阜県立吉城高等学校（1年生 生徒）
～飛騨市で楽しく子育てができるために、私たちにできることを考えよう～
○期日（体験活動：10月21日 … 授業：11月20日） ○科目名 家庭科基礎 ○单元名 人の一生と家族・家庭及び福祉

子育て世代と生徒の交流会（10月）



1年生の生徒が、家庭科の授業の一環として、古川子育て支援センターで、未就園児の子をもつ保護者と交流を深めました。

生徒たちの親子を見る眼差しはとても優しく、キラキラしています。特に、幼い子どもには釘付けです。「生徒たちは、交流の時間が終わる頃には、親子から離れられなくなるんですよ。」と、担当の先生。笑



男子も女子も、子育て中の保護者から聞きたいことがいっぱい。もちろん授業の一環ではあるのですが、幼い命にふれることは生徒にとって何よりも増して魅力が溢れています。子どもの表情を見つめながらも、保護者の話に耳を傾け、学んだことは必死にメモメモメモ…学ぶことは多い。



Q（専門職）「10年後は、お父さんになっているかも。今日の交流会は、どうですか？」

A（生徒）「めっちゃ可愛い！将来、自分も父親になります。でも、今はぜんぜんイメージつかない…。可愛いだけではなくいろいろな苦労があるのだと思う。自分もそうやって両親に育てられてきたんだと思う…。」

ある生徒たちは、3ヶ月になったばかりの乳児をずっと抱っこしていました。腕の中で寝てしまった乳児の顔をずっと見つめながら、何か語りかけたり思いを巡らせたりしている様子。いつまでも見つめていられる命の存在です。お母さんは、その姿をじっと見守っています。

<交流会に参加して（保護者）>



・2日間参加して、娘が私のそばから離れてお兄さんお姉さんと遊ぶ姿にとっても成長を感じました。遊んでいるときもとても楽しそうで、帰宅後も今日の出来事を話す姿に、とてもよい経験をさせていただいたと思いました。お腹の赤ちゃんも9カ月に入り、私も大助かりな2日間となりました。

・なかなか関わることのない年齢の生徒と関わることができ、子どもはもちろん私もどこか懐かしく元気をもらいました。子どもが、今日高校生に会うためにハートピアに向かう準備を着々としていて、楽しみにしていたのが伝

わってきました。この取組は、今後の飛騨市の未来のためにも続けてほしいです。

・高校生と関わることができ、楽しい時間でした。質問されて初めて、自分が「こんなふうにして子育てしているんだな」と、自分を振り返る機会になりました。子育て前のつわりや、ホルモンの影響など、身体に起こることも話せる機会があると良いと思いました。子どももいろいろな生徒に抱っこしてもらえる機会となり嬉しかったです。



家庭科基礎 人の一生と家族・家庭及び福祉 (11月)

とても楽しい!

仲が良い! 賑やか! 豊かにコミュニケーションが飛び交う関係!



10月に開催された「子育て世代と生徒の交流会」で学んだ内容をもとに授業が進められました。交流会におけるインタビューでの気づきは40枚のカードにまとめられ、6つのグループに配布されています。交流会の学びが、仲間と共有され、さらに追求・探求することはとても大切な教科の学びです。

自分にとって最も重要な変化 (MSC) を選ぼう!

共感した! すごい! 自分にはない考え! など心が動いたもの



インタビューでの全員の気づきカード(40枚)を読み合いながら、各自がリアクションシールを貼り、自分の中で最も重要だと思ったカード(MSC=Most Significant Changes)を決めていきます。そして、「なぜ、それを選んだのか」、その理由を書き込んでいきます。



僕は、このカードを選びました。

『子育てをしている父母は、肉体的にも精神的にも強いと感じました。理由は、幸せと感ずることももちろんあるけど、辛いことも同じくらいあると思って、それを乗り越えながら子どもの成長を見守っている姿がカッコいいと感じたからです。』



私は、このカードを選びました。

『子育てをする上で親にとって子どもの成長が一番嬉しく、遣り甲斐なんだなって改めて感じました。複数の子どもがいると、1人目を育てた感覚とまた違い、それも遣り甲斐や楽しさを感じられると教えてもらい、複数の子どもを育ててみたいと思いました。』

今年度、初めての取組となる地域の高校生と未就園児のお子さんをもつ保護者との交流から生まれる学びは、相互にすばらしいものがあります。

子育て中の保護者は「自分の子育てを改めて振り返るきっかけとなっている」「わが子が高校生に会うことをとても楽しみにしている」「高校生とのふれあいの時間は、自分自身の休息の時間となっている」などの感想を抱いています。また、高校生は親になる喜びはもちろんのこと、社会貢献意識や未来への創造力を育んでいます。

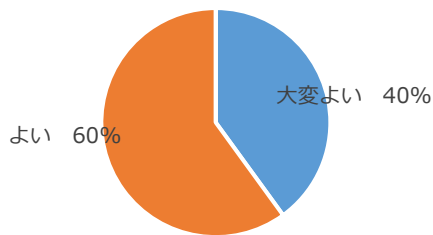
県立吉城高等学校(学校)×子育て応援課(自治体)・・・地域の高校生と子育て中の保護者相互による学び(協働のかけ算)が、まちづくりを活性させます!

□ 企業内家庭教育研修 馬瀬建設株式会社 ～仕事も家庭も自分も元気！元気！！～

○期日 令和7年10月20日 16:00～17:00 ○会場 社内の研修室 ○講師 大八まちづくり協議会事務局

○参加者 15名 ○テーマ 仕事も家庭も自分も元気！元気！！～ワーク・ライフ・バランスカ UP～

本日の研修テーマと内容について



1日ふりかえりシート



ワークライフバランス

相乗効果があってこそ
ワーク・ライフ・バランス



ワークライフインテグレーション



馬瀬建設株式会社にて、企業内家庭教育研修を開催するのは3年目となりました。みなさんが前向きに研修に臨み活発に交流される姿は、とても気持ちが良いです。

日常的に良好な人間関係あってこそ、お互いの子育てや家庭について、語り合えるものだと思います。お互いの家庭を大切にしながら、仕事に向える職場をすばらしく思います。

* 1日のふりかえりシート … 1日は24時間

睡眠、仕事、通勤、趣味、家事、育児、休息、その他 を記入してみましょう！

- ① まず、仕事の時間を記入してみましょう。
- ② 次に、睡眠の時間を記入しましょう。

みなさんが、私生活に関わる時間や子育てに関わる時間は、どのくらいありますか？

講師の方のテンポの良い進行と本音を上手く引き出す質問が、楽しくも深みのある研修をつくり出しています。みんなで考え、みんなが発言できる雰囲気(研修)は、さらに職場の人間関係を深めます。

Q 本日の研修内容についてご家庭や職場でどのように活かしていけそうですか

- ・仕事と家事・育児をがんばりつつ、自分自身も大切にしたいと思いました。
- ・親1人子3人の生活ですので、子どもの協力が本当にありがたいです。楽しくお手伝いしてもらえるように家事分担アプリを利用したいです。
- ・ワークライフバランスについて「仕事を頑張りたい時期」という考えがあり、参考にしていきたいです。
- ・妻をもっと尊敬していきたいと思いました。

講師：相乗効果があってこそそのワークライフバランス！です。

参加者：なるほど。ワークライフインテグレーションという考え方を知ることができました。

* 仕事とプライベートが相乗的に作用し合ったものが人生であると捉え、例えば家庭が充実すると仕事のモチベーションが高まるとする考え方です。

Q 企業で家庭教育関連の研修をまた受講することについて

- ・自分自身を見つめ直し、考える時間になります。
- ・時代の変化に合わせて考え方を変えていきたいです。
- ・仕事と家庭・子育ての両立は悩みの種なので、研修における気づきはありがたいです。
- ・企業も家庭も振り返りが必要かと思います。

□ 生徒指導連携強化委員会・家庭教育推進会議 心の居場所と絆づくりの場 2

○期日 令和7年11月26日(水) ○会場 高山市立東小学校 ○主管 飛騨教育事務所・飛騨県事務所

- <主な日程>
- 全体会 1 趣旨の説明
 - 授業参観 (全学級公開)
 - **全体会 2 児童と参加者との交流 (8G)**
 - 全体会 3 取組の内容や状況について
 - 全体会 4 家庭教育推進 指導・講評

- テーマ 「チーム飛騨」で、すべての子に「居場所と絆」をつくる！
～「あったかい言葉かけ運動」の推進を通して～
- 趣 旨 ①問題行動や不登校の未然防止について危機意識をもつ
②家庭教育力の向上



全体会 2 (8G)

- (1) 委員会活動の紹介
- (2) 児童に質問・感想・アドバイス
- (3) 地域とのつながり
 - ① 児童から
 - ② 参加者から

8つのグループに分かれた委員会の児童が、タブレットを活用しながら、自分たちの活動について説明してくれました。((1)～(3)参照)

Hグループでは、美化委員会が取り組んでいる「おもいやり掃除」について、交流を深めました。2人の児童が、委員会の願いは「全校でおもいやり掃除に取り組み、みんなで学校(居場所)をきれいにすること」「掃除の時間だけではなく、日常においても自分からおもいやり掃除ができる仲間を増やしていくこと」「おもいやり掃除を通して、私たちの校舎や仲間や来校者を大切にする気持ちを多くの人に伝えていくこと」だと、話されました。

ある参加者の方が、「『おもいやり掃除』というネーミングがとってもいいね!」と、にこにこしながら言われました。そして、参加者の皆さんから「学校便りにおもいやり掃除について紹介してもらい、地域の方々がおもいやり掃除に参加できるようにしてはどうか。」「みなさんと一緒におもいやり掃除ができることを喜ばれる方々がたくさんいると思うよ。」「東小学校のおもいやり掃除が地域にも広がっていくことは、素晴らしいね!」など、次々と思いが語られました。



『おもいやり掃除』とは …

「なるほど!」
隣の席から思わず、
参加する校長先生



校長先生、「おもいやり掃除」の時間
をもっと増やしてほしいです!

Q 東小学校の取組や授業を参観した感想について



- ・どの学年学級も温かい雰囲気での話し合いが進められていました。様々な学習形態がありましたが、校長先生(東小学校)が大切にしている「聞く姿」「聞き取る姿」がどの学年でも意識されていました。本テーマである『絆づくり』(聞く・聞き取るプロセス)を大切にする事への先生方の指導の賜物だと思いました。
- ・東小の取組は、子ども主体の本物だと実感しました。「何のために」「誰のために」が活動の根源にあり、その願いを委員会が共有した上で進めていることに感動しました。願いが共有しているからこそ、意見を出し合い相手の意見を聞き練り合う・・・そんな仲間とのつながりができていると感じました。「つながる」ことは、手立てであり目的ではないことを改めて考えさせられました。

Q 今後、本会をよりよいものにするためにについて



- ・居場所づくり・絆づくりという共通目標から、それぞれの立場によるアプローチの仕方について交流ができ、ありがたかったです。
- ・様々な立場の方や役割を知り、つないでいくことで困り感のある家庭へより適切な支援が可能になると感じました。
- ・「チーム飛騨」で … とてもよい会議ですね!
- ・交流したことをどう活かしていくかが課題だと思います。